

レコード軽術4..

2012
No.48



[今月のアーティスト]

維新の時代の 演奏家はいま

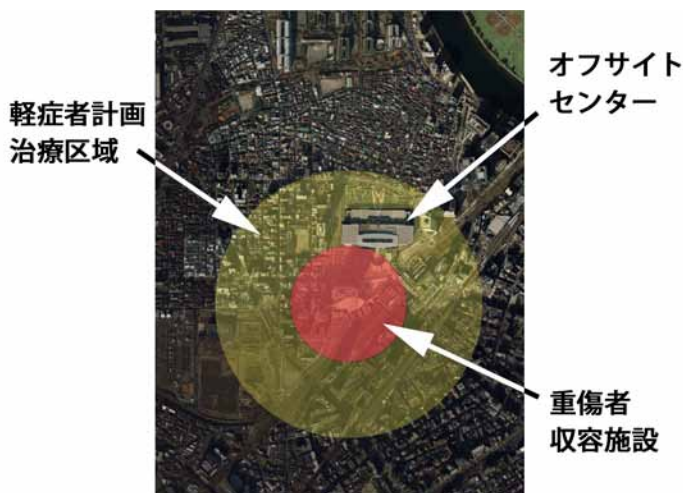
古田秀和「之も楽しむ者に如かず」



もうこんなことは起こりません



集客施設 安全・保安院が発足します

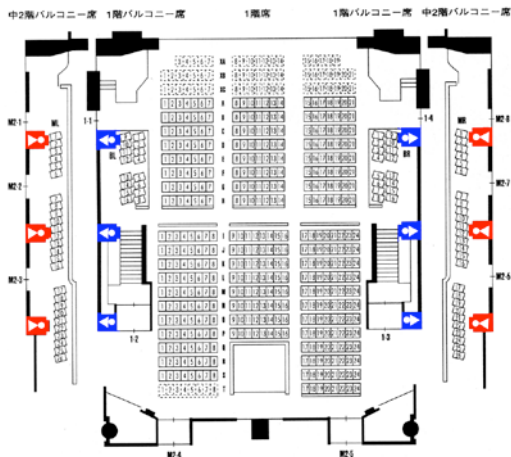


過去の経験者が多数天下り・安心して音楽を楽しめます

新ホール完成



これまでトイレのないマンションを多数作ってしまったことを反省し、新ホールには十分な数のトイレを設けました。



汚水は六カ所の加圧水型汚水処理施設に集められます。

若狭箱物建設工業

ARTIST of the MONTH

今月のアーティスト

上橋 通

独占インタビュー



エイジ・オブ・リストラクション・プレーヤーズという団体が発足した。訳せば維新の時代の演奏家の集まりだ。呼びかけた上橋通氏に抱負をうかがった。

—— 二十人もの人が集まったそうですが。

上橋 それには僕も驚いているんですよ。オーケストラを作るのだったら百人もいれば十分。これだけ反響があるとは、日本も捨てたものじゃないと思いましたねえ。既存のオーケストラに飽き足らない音楽家たちがいかに多いかを示していると思います。

—— どう運営して行くのでしょうか。

上橋 まず月に二回集まってもらって演奏の基本を身につけてもらいます。いわば塾みたいなものです。何回か集まるうちにそれぞれの技量がわかってくるでしょうから、

とりあえず二百人程度に絞り、エイジ・オブ・リストレーション管弦楽団なる団体を作りたい、今のところはつきりしているのはここまでです。

——受講料は年12万円だとか。それが千人分だと二億四千万円です。上橋さんの後援会としたら結構な財源になりますね。

上橋（やや色めき立って）言つときますが、僕は私欲のためにこんなことをやっているんじゃないですよ。もともと二十人なんていない。意志を同じくして頑張ってもらえれば二百人でも日本は変えられる。

——君が代演奏を始めとして色々な方針が打ち出されているようですが。

上橋 君が代演奏については、イデオロギー的な意図は一切ありません。スポーツの世

界で行われていることをなんで音楽の世界でやっちゃいけないのですか。（口調が激しくなる）あんたたちクラシック愛好者は日教組とつるんでいるのですか。知ってますか？かつてボストン交響楽団とかベルリンフィルが来たときはプログラムに先立ってお互いの国歌を演奏したんですよ。当時誰が反対しましたか？新しいオーケストラを作ったら、国家の演奏を拒否する団員はクビにします。

——演奏ミスもクビの対象にするとか。

上橋 そりゃ、技量の劣る団員は退場願わなくては、常識ですよ。

——聞くところによれば、楽章ごとに間違えた団員を交代させるとか。

上橋 そんなサッカーみたいなことをする

とは誰が言ったか知りませんが、音楽の鑑賞に邪魔にならなければするかもしれない。とにかく緊張感を持って演奏してもらうことが第一ですから。

——これまでの上橋さんの進め方ではまず始めにあれつと驚くような案が出て来て、まさかその通りには行かないだろうと思っ
ているうちに一歩後退。まあ、全体としては大筋から外れて行かないのですが、結果として話題をまいただけじゃないかというのもあります。オーケストラ結成はいわば正念場、ずばり成算をうかがいたいのです
が。

上橋 アハハ、正念場はいつもですよ。失敗もいつも。で、結果はどうでもこれほど話題にもらえるだけで現状に風穴を開

ける役割はしているじゃないの。まあ、見ていてください。まだ公表するのは早いか
もしれないけれど、プログラムにも一工夫したいんです。定演の曲目の一部を未定に
しておいて、定期会員のリクエスト枠に
します。音楽ファンの「胸中八曲」を引っ張
り出そうという魂胆です。いいでしょ。

上橋氏と口論になったらとても勝てそう
もないなと会う前は心配だったが、意外に
もこちらのいうことも終わりまで聞いても
らえ、有意義な時間を過ごせた。改革の流
れは絶やしてはならないが、小泉改革およ
びそのあとの政権交代のもたらしたそれぞ
れの熱狂と失望を経験した後では「二度あ
ることは三度ある」という言葉が脳裏にち
らつく。慎重に今後を見据えたい。



古田秀和
Hidetaka FURUTA

之も楽しむ者に如かず

● バッハ 無伴奏チェロ組曲

ようやく春の日差しに恵まれるようになって足を延ばす範囲も広がってきた。冬の間通らなかった露路にも春の花が再会を待つようにつばみをふくらませている。よく手の入った庭の前を通るのは楽しい。前から気になる一軒があった。その家では特に珍しい花を育てているように見えないが、——珍しい花があっても私がそれに気づかないだけなのかもしれないが——一目で花々に手入れが行き届いていることがわかり、それも訪問者に向かって「さあ、いらっしやい」と言いたげな向きに並んでいた。

散策しているうちに、またその庭を見たいと思ひ、捜したが迷ってしまった。いくら冬の間通らなかったといえども、見過ごしたとは思いたくない。門扉の印象の記憶などを手がかりに行き来するうちに、かなり模様替えされた配置で見つかった。通り過ぎてしまったのはそのためだ。模様替えされたきっかけは向かいに建設中のマンションによる日陰のためらしい。花の生育と光の効果を考えることと思われる。

日当たりに恵まれた前の庭が惜しまれるが、今度の庭も狭くはなったがその分細部まで磨き

上げられ、さらに美しい。日陰は庭にとつては災害だが、持ち主の花心はそれにひるまず健在だ。箱庭のように凝縮された美意識というべきか。外国人が日本の建物や庭を見ると、まず小さいことが印象に残るそう。国土が狭く人口密度が高いのがどう具体的に関係するのかわからないけれど、美術工芸品であれ、工業製品であれ、もとは外国から入ったものでも我々の文化の中でこなれていくに従い、小さく精緻に変化していく。そして独自の発展を遂げた創造的な文化遺産として評価されていく。

ここで李御寧による韓国人から見た日本人論



J・S・バッハ

無伴奏チェロ組曲

小笠原 育生

『縮み』志向の日本人』をとりあげるのはそぐわないが、世界の認める価値は決して物量の大きさではなく、創造性なのだという価値観が共有されていることは素晴らしいではないか。確かに、日本が島国で鎖国をしていた時期があったからこそ滅ぼされずにすんだ文化もあるだろう。しかし、滅ぼそうと企てばできなかったはずはない。たとえば京都や奈良に原爆を落とすようにしてだ。実際、インカやマヤの文明はヨーロッパ人の侵略により滅ぼされた。21世紀になってやっと人類は弱肉強食以外の道に気がついたのかもしれない。

そしてこれからは、他の生物に対しても理解と共存の道を探りつつ歩むことが求められているのではあるまいか。東京から南に千キロ、小笠原の島々に生きる生き物に思いを馳せるとき、弱肉強食から共存へと我々の文化の進んできた道にも思いを馳せざるを得ない。

新譜
月評

2 0 1 2
4.
A P R I L

交響曲 宇野咆吼
声楽曲 北海又帰
オペラ 国土潤金
録音評 三井住友

4月号新譜月評

■リヒャルト・シュトラウス:交響詩「死
と変容」ドヴォルザーク:交響曲「新世界」

野駄目佳彦 指揮

■日本を歌う/ふるさとの歌曲集

平野達見 指揮

■ブリテン:歌劇「ねじの回転」

谷柿禎一 指揮

カップリングが妙だと誰もが思うだろうが、わけがある。「新世界」は前任者の管鳴人が第一楽章のみを録音して退任したのを引き継いだもの。「死と変容」はその前の常任指揮者鳩豆由奇夫が録音したもの、路線が合わないゆえの再録音であ



■リヒャルト・シュトラウス
:交響詩「死と変容」ドヴォルザーク:交響曲「新世界」
野駄目佳彦指揮、新永田町
フィル

る。これらの演奏評については本誌のバツクナンバーを参照されたい。

再録音されたからには、以前の演奏の欠点も克服されているのではないかと誰もが期待するものだが、裏切られた。開始早々に鈍重な表現と徐々に遅くなるテ

ンポにはついて行くのに忍耐を要すほどだ。相変わらず主導権がどこにあるの不明な状況が続いている。「死と変容」は死に瀕した病人が死の恐怖を克服し浄化していく過程を描いた曲だが、短調から長調への移行にメリハリがない。表現したいことがオケに行き渡ってないのではあるまいか。

「新世界」は第二楽章からの新録音だが、有名なこの楽章に関してはかなり評価できる。派手なところはなくよく吟味された歌い方、パート間の受け渡しも良い。これがこの指揮者の持ち味だ。しかし、終楽章に向かって加速度的にアンサンブルが悪くなる。複数のパートの確信的な暴走を抑える術がないままな崩し的に曲が

終了する。

私たちは生きている間にたくさんの人と出会う。そのうち何人かには自らのすべてをかけるほどに入れ込んだりする。男女の関係にとどまらない。そして、何回も裏切られたり失望させられたりして互いに成長していく。

かくして私たちは、「約束を守らない人」、「言うことがクルクル変わる人」、「優柔不断な人」、「謝らない人」、…、を避けることを学習している。一人一人の人間に対してもそれは色々大変なことなのに、国の営みの場で団体を選ぶのに、これほどの試行錯誤を強いられなければならないのか、情けない。

近年、日本語で歌われた歌曲が海外でも響きの美しさが認められたか、注目されているようだ。このディスクは小学唱歌を中心に古くから歌い継がれてきた歌曲をまとめたもの。英文の訳詞付きで明らかに世界を意識している。震災の被災地でよく歌



■日本を歌う / ふるさと
の歌曲集

平野達見指揮、福島フロ
イント・コール

われた「ふるさと」も入っていて、これを機会に世界に広まるかもしれない。

歌曲の中には、日本語で歌われていても、「故郷の空」のように原曲はスコットランド民謡だったりする曲も多い。日本人の作曲家による小学唱歌も明治の頃に

西洋音楽の手法を取り入れて作曲されたものであり、原曲にこだわらず味わいたい。

とはいえども、時代と共に歌詞の意味することが問題になることは避けられない。最近の卒業式ではあまり歌われなくなってきたようだが、「仰げば尊し」に「教師が生徒に師の恩を押し付ける意味の歌を強制するのはおかしい」と起立して歌うことを拒否しようなどという動きもあるそうだ。

実は、このディスクに収録されている「蛍の光」（原曲はスコットランド民謡）には裏話がある。オーディオ・マニアな気がつくかもしれないが、コーラスの人数および収録場所の残響が「蛍の光」のみ他と

異なっている。もともと電力会社のCM用に収録されたものなのだ。どのように使われるはずだったかは関係者に聞いたところ、次のようなシーンだったらしい。

「原子力発電は私たちの生活を支えています」というナレーションのもと電灯が消え、「蛍の光」が流れる。映像は窓辺に降る雪。そして、

「続けたい、今の暮らし」とかナレーションが流れて電灯が点く。

何しろ、「原発なかったらロウソク生活」とかささらには「江戸時代」とまで推進派の閣僚が口にしていた程だから、こんなCMが流れても3・11以前だったならなんの違和感も持たなかったかもしれない。マインド・コントロールは恐ろしい。

どのオケも財政の厳しい中、多額の経費がかかるオペラの上演は困難が伴うが永田町管弦楽団はブリテンの少人数のオペラを取り上げることで存在感を保った。標題の「ねじの回転」であるが、昨今話題に昇っている他のオケとのいわゆる「ねじれ



■ブリテン：歌劇「ねじの回転」

勝間勝代、偽山英彦他
谷柿禎一指揮、永田町管
弦楽団

現象」とは関係ない。

この作品には幽霊が二人登場、主人公である若い女性の家庭教師と教え子の兄妹を混乱におとしめる、いわばホラーオペラだ。主人公の家庭教師と前任者の女性家庭教師の幽霊は勝間勝代が一人二役

を演じる。もう一人の幽霊は永田町管弦楽団の審議官だった偽山が起用され、時宜を得たキャスティングと言えよう。

勝間勝代は声質をよくコントロールし、二役を使い分けている。幽霊での歌唱は聴き覚えがある人が多いだろう。彼女が中部電力の原発推進CMに登場していたときの歌い方だ。声は健在だ。

物語の結末では家庭教師のもとから生徒を引き離そうとする幽霊が勝ち、生徒の一人の男の子が死んでしまう。家庭教師役の勝間自身にしてみれば、過去の自分との戦いである。そこそこの収入を得るために問題のある企業の宣伝の片棒を担いだことが順風満帆だった経歴に影を落としたことは疑いない事実だ。思慮が浅かった

と反省はしても、それは「儲けのためなら深く考えるのは無駄」ということにほかならない。彼女の持つ経済観が、いかに無節操で浅薄なものだったか。

もう一人の幽霊を演じた偽山英彦も好演。幽霊同士は生前は特別な関係にあつたとされ、男性は妻子持ちながら家庭教師に心を寄せていた。この関係が幽霊たちの結末を深め、子どもたちを引き寄せる不気味な印象を高める。

谷柿埴一率いるオーケストラも好演。幽霊登場の場面に爆発音のような音が入っているが、意図的に入れたにしては唐突に過ぎる。何か想定外のことがあったのかもしれない。調査が望まれる。

マーラー作曲 交響曲「大地の歌」

公開録音 全国ツアー開始



第1楽章「大地の哀愁に寄せる酒の歌」	札幌コンサートホール Kitara
第2楽章「秋に寂しき者」	石川県立音楽堂
第3楽章「青春について」	島田市民会館ホール
第4楽章「美について」	伊勢市観光文化会館
第5楽章「春に酔える者」	高知県立文化ホール
第6楽章「告別」	下田市民文化会館

公開録音の行われる場所では、演奏に先立って地鎮祭が催されます。
必ずご列席下さい。

全日本フィルハーモニー



「日本で一番我慢強い男」の書き下ろし



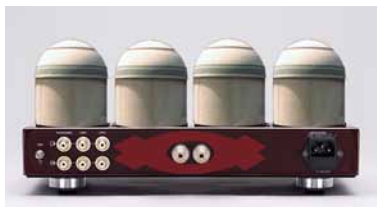
今さらきけない疑問満載
クイズいじめからさようなら

好評発売中！

隠蔽された 音害に 切り込む



枝葉幸男
×
飯田哲成



枝葉 CD不況が続いていますね。

飯田 不況という状態でなく、もうディスクの時代は終わっているかもしれないよ。ネット配信を含むいろいろなメディアを消費者が選択するようになってきましたから。

枝葉 けれど、儲けたのはiPODなどを出したアップルだけ、車にしろテレビにしろ伸び悩み、世界的な不況におちいっています。

飯田 日本はバブル崩壊以来、失われた30年とまでいわれる低迷期が続いています。長期的には現役世代が減少することにより経済規模が縮小するのは自明ですが、バブルの頃は現役世代の減少はまだ始まっていなかった。

枝葉 ここへ来て、その原因を思いもかけ

ない所に結びつける説が出てきました。

飯田 CDの音域の狭さが聴覚を通し脳を混乱させ、決定能力が劣化すると主張。そんな人間が多数になったことにより経済活動が低下したというんでしょ。確かにバブルの崩壊に先立ちCDの普及が始まっていますが、信じられませんか。

枝葉 音域が狭いからいけないというのではなく、ある周波数から上をスパッと切るのが良くないらしい。だから、真空管アンプのように高音域がダラダラ落ちるのがいいらしい。

飯田 かと言って今さら真空管アンプとはねえ。節電が求められているのにあんな消費電力が大きいもの、マニアだからと言って受け入れられる時代ではありませんよ。

枝葉 理屈はともあれ、これでCD聞いてみませんか。元氣が出るかもしれない。

飯田 エッ、これですか、40年前の東芝製じゃないですか。いきなりスイッチを入れると危ないですよ。

枝葉 前もってコンピュータ・シミュレーションしてあるから、多分大丈夫。

飯田 想定外のことが起こりませんように。(スイッチを入れる)

枝葉 おっ、動いた動いた。これを普及させれば日本経済の再生間違いないだ。

飯田 みんながこんなアンプを使うと、消費電力も大変なことになりますよ。

枝葉 なら原発を再稼働すればいいだけのこと。ウー、元氣が出てきた。

飯田 昔に逆戻りだ、これじゃ。

村おこし 絆 コンサート

全国 54 ヶ所でコンサート開催

原子力委員会 原子力安全委員会 原子力安全・保安院 資源エネルギー庁 原子力安全基盤機構 総合資源エネルギー調査会 原子力部

会 日本原子

日本原子力技

力産業協会

日本原燃 電

力中央研究所

北電力 東京

北陸電力 関

西国電力

日立製作所

工務店 大林



力研究開発機構

術協会 日本原子

国際原子力開発

気事業連合会 電

北海道電力 東

電力 中部電力

西電力 中国電力

九州電力 東芝

三菱重工業 竹中

組 鹿島 熊谷組

五洋建設 清水建設 大成建設 西松建設 前田建設工業 奥村組

ハザマ 東芝プラントシステム 太平電業 日立プラントテクノロ

ジー 神戸製鋼所 JFE スチール 新日本製鐵 住友金属工業 日立金

属 神戸製鋼所 JFE スチール 新日本製鐵 住友金属工業 日立金属

I H I 川崎重工業 三菱電機 グローバル・ニュークリア・フュエル

・ジャパン 原子燃料工業 三菱原子燃料 イトーキ 岡村製作所

岡野バルブ製造 電気化学工業 日本製鉄所 オルガノ 木村化工機

イーグル工業 新日本空調 助川電気工業 東亜バルブエンジニア

リング アトックス

前回のお知らせで絆の字が間違っておりました。

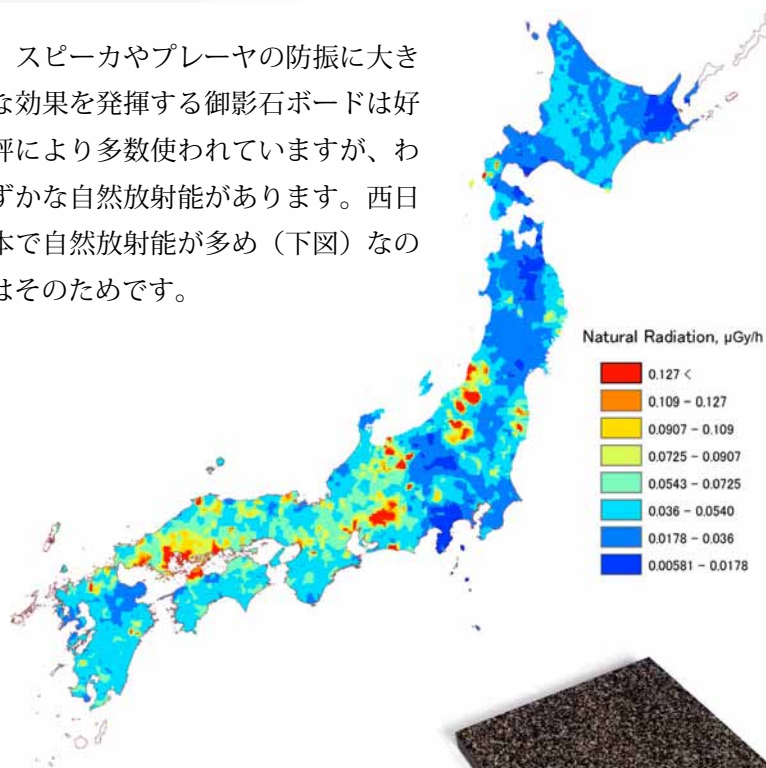
次のように訂正いたします。

絆 → 絆
(誤) (正)

弊社オーディオボード ご愛用の皆様へお願い



スピーカやプレーヤの防振に大きな効果を発揮する御影石ボードは好評により多数使われていますが、わずかな自然放射能があります。西日本で自然放射能が多め（下図）なのはそのためです。



より安全な宮城や岩手産のボードと交換しませんか？震災瓦礫を新技術で圧縮、音質向上は驚くほどです。売り上げの一部は被災地復興に使われます。



復響  電器 (株)

レコード軽術常備店



クラシック音楽を聴きながら

語らいと酒悦のひとつき

〒167-0054 杉並区松庵 3-38-3

ニューダイヤハイム B 1 南号

☎ 03-3334-4161 (日曜休み)

再生可能エネルギーを推進しましょう

本誌は太陽のエネルギーで印刷されています



太陽光発電パネル設置は 97 年

不要 C D をお持ちの読者の方々に 10 枚で CD 型太陽電池一枚と交換します。

CD 引換券

有効期限 2012.4.1

オントモグループ

オントモ燃処理 (株)

編集後記

震災から1年を過ぎ、通常の号に戻りましたが、依然原発関連の話題は避けられません。消費税やT P Pの問題も重要なのですが、政治の方がしっかりしないとネタに取り上げられません。政争三昧はもうごめんです。

バックナンバーのハイライト、真面目なエッセイなどを
http://members2.jcom.home.ne.jp/s_yanagawa/
で見ることができます。

レコード軽術 '12年春号（通巻第48号）

2012.4.1 第1刷発行

編集発行人 柳川誠介

〒195-0054 町田市三輪町 539-119

TEL&FAX (044) 989-8510

s_yanagawa@jcom.home.ne.jp

印刷・製本 家内工業

